

大阪市立 南市岡小学校

所在地 〒552-0011 港区南市岡2丁目6番35号
TEL 06-6582-0390
FAX 06-6582-0197
校長名 木村 幹彦 (きむら みきひこ)



学校の紹介・校長メッセージ

南市岡小学校は、港区と西区が接するところに位置し、東は境川、西は国道43号線、南は尻無川、北はみなと通に囲まれた地域が校区となっています。昭和30年～40年代には17学級～19学級で児童数600人～700人の規模がありましたが、平成6年以降は、各学年1学級の小規模な学校で統合・廃校の対象校となっていました。しかし、学校選択制の実施や校区の変更(平成27年度より3年間の調整期間を経て、平成30年度より南市岡3丁目が南市岡小学校区となる。)により、令和元年度は269名

(9学級)となり、令和2年度は288名(10学級)の規模で11月1日に創立90周年を迎え、令和3年度は297名(10学級)となりました。そのため、平成29年度に新校舎を建設し、新たに7教室を確保しました。令和4年5月には、長寿命化工事により、講堂・プールが新しくなりました。100人規模の学校から一挙に約3倍規模の学校へと移行することを念頭に置き、教育活動や学校行事等を見直し、よき伝統を残しながら新しい南市岡小学校を創っていくべきなのだと考えています。

学校教育目標 明るくしんのある子どもに育てる

めざす学校像 子どもが楽しく学び、のびのびと活動できる学校
子どもが互いに認め合い、ともに伸びていく学校
保護者や地域と連携し、互いに信頼し合える学校

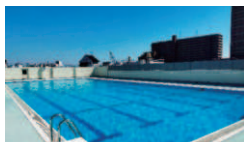
めざす子ども像 助け合える子ども
はっきり言える子ども
ねばり強い子ども



<講室外観>



<講堂フロア>



<屋上プール>

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

- 本市調査における「いじめを受けた児童生徒が当該行為をいじめではないと否定することをもって『いじめはない』と判断するのではなく、当該児童生徒の表情や様子をきめ細かく観察するなどして確認し、いじめに該当するか否かを判断している」とする教員の割合を100%にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を77.3%以上にする。(昨年度77.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- (小学校学力経年調査における)
- 「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を48.1%以上にする。(昨年度48.0%)

- 「朝食を毎日食べていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を92.2%以上にする。(昨年度92.1%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50.0%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79.6%以上にする。(昨年度79.5%)
- 本市調査における、「学校図書館貸出冊数(児童1人当たりの年間貸出冊数)」を40冊以上にする。(昨年度92冊)
- 小学校学力経年調査における「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合を87.6%以上にする。(昨年度100%)

●令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

平均正答率(%)	
国語	算数
58	53

<分析から見えてきた 成果・課題>

【国語】「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱いに関すること」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の全ての内容において、平均正答率が全国平均、大阪市平均を下回っており、課題が見られた。特に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容においては、平均正答率が全国平均、大阪市平均とともに8ポイント以上下回っており、大きな課題が見られた。しかし、「言語文化に関する事項」の内容における平均正答率の大阪市平均との差は、2ポイントであり、基本的な言語事項の習得に関しては、本校国語科研究の取り組みの成果が一定出ていると考える。

【算数】平均正答率が大阪市平均を9ポイント下回った。各領域で、平均正答率が全国平均、大阪市平均を下回っており、課題が見られる。特に「図形」や「データの活用」領域における平均正答率の大阪市平均との差は11ポイントであり、力を入れるべき分野であると言える。個に応じたきめ細かな指導の継続が必要であると考えられる。

<今後の取組>
国語科、算数科の学習においては、児童の実態に応じて学習指導形態の工夫や個に応じた指導の工夫を継続していく。特に課題に見られた国語科の「話すこと・聞くこと」「書くこと」の内容においては、本校国語科研究の推進とともに「話す」活動、「聞く」活動、「書く」活動の場を確保した取り組みを進め、学力向上を図っていく。また、「家庭学習力アンケート」の取り組みを通して家庭との連携を図りながら、家庭での学習習慣が身につくよう働きかけていく。

●令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力(kg)	上体起こし(回数)	長座体前屈(cm)	反復横とび(回数)	20mシャトルラン(回数)	50m走(秒)	立ち幅とび(cm)	ボール投げ(m)	体力合計点
男子	16.29	19.46	29.93	35.34	37.66	9.36	148.14	22.24	51.15
女子	14.71	16.95	34.83	31.48	24.24	10.37	134.29	11.43	46.17

男子は、「握力」「上体起こし」「50m走」「ソフトボール投げ」の4種目で全国平均、大阪市平均を上回ったが、「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」の3種目で全国平均、大阪市平均を下回った。「立ち幅とび」については、大阪市平均を上回ったものの、全国平均を下回った。結果として、体力合計点で大阪市平均を0.02ポイント上回り、全国平均を1.38ポイント下回った。女子は、全8種目で全国平均、大阪市平均を下回った結果、体力合計点で全国平均を7.75ポイント、大阪市平均を6.3ポイント下回った。「運動がスポーツをすることは好きですか」という質問に対して「好き」と回答する児童の割合は、男子は69.0%で全国平均を4.0ポイント、大阪市平均を5.3ポイント下回った。一方、女子は52.4%で、全国平均を2.4ポイント、大阪市平均を0.6ポイント下回った。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子14.2%、女子23.8%で、男女ともに

全国平均、大阪市平均より1週間の総合運動時間が少ない児童の割合が高かった。しかしながら、男子については、1週間の総運動時間が420分以上の児童の割合が67.9%と約50%であった全国平均、大阪市平均をいずれも17ポイント以上上回った。<自校の取組の成果や課題>

年2回の体力づくり週間や児童が運動する時間と場の確保に継続して努めた結果、学校アンケート「運動することが好きだ」に対して最も肯定的に回答する児童の割合は昨年度同様69%となった。また、肯定的に回答する児童の割合は85%となり、学校の年度目標を達成することができた。しかし、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合が全国平均、大阪市平均と比べて高いので、児童が普段の学校生活から運動に親しんだり、取り組んだりすることができるよう、「運動の日常化」「運動の習慣化」を図る取り組みを推進していく。

1年間の主な行事

4月	入学式 始業式 対面式 学習参観 希望制懇談
5月	校外学習 修学旅行(6年) 新体力テスト
6月	自然体験学習(5年) ふれあいフェスティバル 土曜参観
7月	プール・水泳開始 期末懇談会 終業式
8月	始業式 避難訓練(台風)
9月	食の学習 学習参観
10月	運動会 校外学習 劇鑑賞会あるいは音楽鑑賞会(隔年実施)
11月	作品展あるいは学習発表会(隔年実施)
12月	期末懇談会 終業式
1月	始業式 避難訓練(地震)
2月	防災教育 新1年生入学準備会
3月	卒業を祝う会 卒業式 修了式

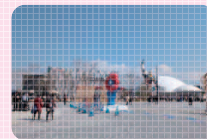
現在、南市岡小学校では、学校生活の様子や様々な行事などをホームページで紹介しています。ぜひ、ご覧ください。
「南市岡小学校」と入力し、検索すると、すぐにホームページが閲覧できます。



修学旅行(6年) 鳥羽・宮島



自然体験学習(5年) ハチ高原



令和7年度は4～5月に遠足で大阪・関西万博に行きました。

